

ヨネックスカントリークラブ



ヒートポンプ給湯

贈呈理由

ハイブリッドヒートポンプ給湯機の導入により、省エネ・省コストを実現



クラブハウス

ヨネックスカントリークラブは、1996年川田太三氏設計、倉本昌弘氏監修により佐渡島を臨む歴史豊かな町「新潟県長岡市寺泊」の大自然を出来る限り生かしながらレイアウトされた戦略性の高いタフなコースである。同クラブは、オープン以来、「自然」「調和」そして「挑戦」を合言葉にスポーツを愛する人々の夢を実現するため歩み続け、この熱き思いが新たなスポーツの歴史と文化を生み出そうとしている。

課題の解決を目指し、 ハイブリッド給湯システム

同クラブハウスの給湯システムは1996年のオープン以来、重油ボイラを使用してきた。その後、長引く経済不況、不安定な原油価格などから経費の削減を迫られたものの、老朽化により、2010

年・2012年に重油ボイラを更新した。

しかしながら、このまま重油ボイラを使い続けると経費がかさむばかりで一向に改善が図られないこと、CO₂の削減による社会貢献等新たな課題解決に向け最適なシステムの導入を検討した。その結果、給湯負荷のベース負荷分を業務用エコキュート、変動負荷分を重油ボイラとするコストパフォーマンスに優れたハイブリッド給湯システムを導入した。

これにより、①大幅なCO₂の削減、②夜間電力を利用することでのランニングコスト削減、③ボイラのメンテナンスコスト削減が実現された。また、業務用エコキュートの操作も容易で運転管理も不要であるため、スタッフから好評を得ている。

今後は、蓄積した運転データを分析しながら、さらなる効率的な運用を図っていく。



業務用エコキュート

ヨネックスカントリークラブ

所在地：新潟県長岡市寺泊志戸橋254
建築設計：(株)千創
建築施工：前田建設工業(株)
蓄熱設備設計：大和電機産業(株) (株)ユアテック
蓄熱設備施工：大和電機産業(株) (株)ユアテック
延床面積：3,250㎡
竣工：2014年(更新)

■蓄熱設備概要
業務用エコキュート 15kW×3台(日本サーモエナー)
貯湯槽：8㎡